

高齢者の皆さん 健康増進や仲間づくりの場 「不老荘」は素敵なおとこです



和室は新しい畳のいい匂いがします。休憩していたおばあちゃんたちに、利用した感想を伺ってみると「私はいつも来ているんです。お友だちもできて話も楽しいし、健康のためにもとてもいいところですよ。」と答えてくださいました。

「車の運転ができないけれど、どうやって行ったらいいのかな。」と
お風呂は足の不自由な方や車イスのかたも入浴できるよう、スロープが付けれられています。建物の中を案内していただいていたのですが、全体がゆとりを持って造られています。そして、建物の中には段差が全然ありません。高齢者、特に障害を持つかたへの配慮が感じられました。



このコーナーを読んだ皆さん、家や近所のおじいちゃんおばあちゃんにこんな素敵な施設があることを教えてあげてください。喜んでもらえること間違いです!!

REPORTER'S EYE



【リポーター】
天野和子さん(上広瀬在住)

リポーターズアイでは、行政のしくみや課題性のあることから、市内のいろいろな施設などを、市民のかたがリポートします。

日本では高齢化が進み、約30年後には4人に1人が65歳以上になるといわれています。狭山市でも、これから迎える高齢社会に向けていろいろな取り組みをしていますが、今回は、そんな市の取り組みを象徴するよう新しい施設「老人福祉センター不老荘」を、泉谷所長の案内で紹介します。

「不老荘」は6月1日に宝荘、寿荘に続いて市内で3番めの老人福祉センターとして入間地区にオープンしました。高齢者の健康増進の場、憩いの場として利用していただけるほか、自主的な活動の場を提供することで、生きがいづくりや仲間づくりを目指すこの施設は、狭山市、所沢市、飯能市、入間市に在住、在勤

の60歳以上のかたなら無料で利用することが出来ます。84畳もある舞台のついた広い和室は、水曜日以外は事前申し込めば寿会やサークルなど団体での利用もできるそう、この日もおばあちゃんたちが日本舞踊のお稽古をしていました。



思うかたもいらっしゃると思いますが、不老荘は福祉循環バス「茶の花号」のサピオ種荷山と寿荘を結ぶ南コースの停留所にもなっていて、私がおじやましている間にも、たくさんの方がバスでやって来られました。

所長さんは「1日に約140名のかたが利用しています。高齢者にとって身近な施設として、これからも活用していただきたいですね。」また、「ここが地域の核になって、高齢者福祉が推進できれば、と考えています。皆さんが支えあっていけるよう、手助けをさせていただきたいと思っています。」と力強く話してくださいました。